

ギニア

主要データ

国名〔英名〕	ギニア共和国 [Republic of Guinea]
面積(km ²)	245,857
海岸線延長(km)	320
人口(百万人)	12.4
人口密度(人/km ²)	50.5
GDP(十億 US\$)	9.18
一人当り GDP(US\$)	739.74
主要鉱産物：鉱石	ボーキサイト、金
主要鉱産物：地金	アルミナ
鉱業管轄官庁	鉱山地質省(Ministry of Mines and Geology)
鉱業関連政府機関	鉱業開発投資促進センター(Centre de Promotion et de Development Miner (CPDM))
鉱業法	Mining Code(2011年制定、2013年改正)
税金	Extraction Tax:鉄鉱石 3%、ベースメタル 3%、ボーキサイト 0.075% Production Tax:銀、金、白金、パラジウム、ロジウム 5% The Mineral Substance Export Tax:鉄鉱石、ベースメタル 2%、ボーキサイト 0.075%
外資法	-
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	Protection and Development of the Environment(Environmental Code, 1987年制定、1989年改正)
鉱業公社	Campagnie des Bauxitee de Guinee(CBG)
鉱業活動中の民間企業	UC Rusal、Rio Tinto、Chinalco 等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	Boke 鉱山周辺で鉱山労働者によるストライキ、抗議活動が頻発。2018年5月には、全国ギニア労働者組合(Union Generale des Travailleurs de Guinee, UGTG)のアブバカール・シディキ・マラ組合次長が政府に拘束されたことから同鉱山で10日以上に渡るストライキが実施された。
2017年のトピックス	2016年10月、Rio TintoはSimandouプロジェクトの全権益46.6%売却に係る基本合意書をChinalcoと署名。2018年7月、Abdoulaye Magassouba 鉱山大臣は、交渉は継続中であると言及。

1. 鉱業一般概況

ギニアにおいて鉱業はGDPの15%、国家歳入の20~25%、輸出収入の80%を占める重要セクターである。同国は世界のボーキサイト埋蔵量の3分の1以上を擁す世界第5位のボーキサイト生産国であり、他に金、ダイヤモンドを生産している。また、世界最大級の鉄鉱石鉱床とされるSimandouプロジェクト開発動向が注目を集めているほか、ウラン、石灰石、ニッケル、チタン、黒鉛、コバルト、鉛及び亜鉛の鉱徴が確認されている。これまで軍事クーデターによる暫定政権発足など政治リスクへの懸念等により鉱業投資は遅れていたが、2013年4月に投資促進のため鉱業法が改正され、同年9月には国民議会選挙が実施されるなど民主化が進み、投資環境は改善している。IMFによると2017年におけるギニア経済は、鉱業セクターが牽引をしたことにより8.2%拡大。また、鉱業セクターにおける直接

外国投資は拡大傾向にあり、中・長期の成長見通しも良好である。

2015年10月には、大統領選挙が実施され、Alpha Conde 大統領が再選を果たした。Conde 政権には、鉱山会社 Guinea Alumina Corporation (GAC) の取締役を務めていた Mamady YOULA 氏を首相に、鉱山産業エネルギー大臣に Abdoulaye Magassouba 氏を任命した。同氏は、前 Conde 政権の元大統領のカウンセラーを務めており、Simandou プロジェクトを含む多くの鉱業プロジェクトに関与してきた経験を持つ。さらに、Conde 政権下では、中国 CWE 社 (China International Water & Electric) の資金援助を受け、240MW 規模の Kaleta 水力発電ダムを2015年に開設、続いて500MW 規模の Souapiti 水力発電ダムを開発中であり、政府は2020年の開設を目指している。同ダムが完成すると同国のエネルギー生産量は約2倍に拡大する見込みであり、鉱山操業のキャパシティ拡大にも貢献するとみられている。

また、ギニア民間投資促進庁 (APIP) によるワンストップショップのサービスが2016年にスタートし、72時間以内で完了する簡易な会社登録制度といった投資環境整備も進んでいる。2016年9月には、鉱業土地台帳 (Mining cadastre) が整備され、鉱業ライセンスに関する情報をリアルタイムで発信している。

同国の南西に位置する Simandou 鉄鉱石プロジェクトについては、暫定軍事政権下に Block1&2 の鉱業権を BSG Resources 社が取得し、2010年5月には VALE が25億 US\$ で権益51%を BSG Resources 社から取得し参入していたが、2014年4月、Conde 大統領は BSG Resources 社による鉱業権取得に際し前政権への賄賂といった不法行為が確認されたとして当該鉱業権を剥奪した。2015年3月、Vale は権益を BSG Resources 社に売却。2015年5月には英国最高裁により BSG Resources 社に対して、同案件に係る数千ページにも及ぶ書類を重大不正捜査局 (Serious Fraud Office) に提出し、調査を受けるように命令が出されており、同プロジェクトは一時中止のままである。

なお Block1&2 の南に位置する Block3&4 については、2014年5月、同プロジェクトを保有する Rio Tinto、Chinalco 及び IFC と同国政府との間で投資包括協定が締結されていたが、2016年10月 Rio Tinto が Simandou の全権益売却に係る基本合意書を Chinalco と署名 (権益比率は Rio Tinto 46.6%、Chinalco 41.3%、ギニア政府 7.5%、IFC 4.6%)。一方、同年11月には Rio Tinto が2011年時にプロジェクト権益確保の際に不正行為が行われたとして、米・司法省 (Department of Justice)、英・重大不正捜査局に報告、当局が政府への賄賂の疑いがあるとして調査を開始した。同プロジェクトには、約700kmに及ぶ鉄道敷設、港湾設備建設を含む230億 US\$ 以上の投資が必要とされている。

2016年10月に、Rio Tinto は Simandou Block 3&4 鉄鉱石プロジェクトの権益売却に係る基本合意書 (Heads of Agreement) を Chinalco と署名したことを発表したが、2018年7月の段階で最終合意の話合いは継続中であることが Magassouba 鉱山大臣により明らかになっている。

また、2018年7月、モーリタニアで開催された第31回アフリカ連合 (AU) 総会において、アフリカ鉱業ビジョン及びアフリカ大陸鉱物資源開発政策の導入を手掛ける AU の専門機関であるアフリカ鉱物開発センター (African Minerals Development Centre: AMDC) の本部をギニアに設置することが決定した。

2. 鉱業政策の主な動き

2008年12月、Lansana Conte 大統領 (当時) の病死を機に軍事クーデターが発生し暫定軍事政権が発足、その後2010年1月に Compaore ブルキナファソ大統領の調停のもとで暫定国家統一政府が樹立され、同年に実施した大統領選挙により Alpha Conde 大統領が就任した。AU は民主化プロセスの進展を評価し、2008年の軍事クーデター以降 AU 参加資格を停止していたがこれを解除した。2013年9月には、当初予定されていた2011年11月から約2年遅れて国民議会選挙が実施され、Alpha Conde 大統領の RPG 党が最多議席を獲得、これにより民主化プロセス移行期間が終了した。

鉱業法に関しては、国家暫定評議会が2013年4月に改正案を承認した。新鉱業法では、鉱業利益税 (mining profit tax) を35%から30%に引き下げるとともに、鉱業権取得に際しては1案件あたり最

低投資額を 10 億 US\$ から 5 億 US\$ に引き下げた（ボーキサイト、鉄鉱石及び放射性物質については 10 億 US\$）。一方で、鉱業プロジェクトにおける権益の 15% をギニア政府に無償譲渡する条項は新鉱業法でも規定されており、さらに企業との合意の下で権益の 20% をギニア政府が買い取ることを可能にする条項が追加された。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2015 年 (千 t)	2016 年 (千 t)	2017 年 (千 t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
ボーキサイト	21,048.6	30,771.9	42,715.94	38.8	14.4	3

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2018)

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出量

表 3-2. 主要金属輸出量（グロス量）

鉱種	2015 年	2016 年	2017 年	対前年増減比 (%)	主な輸出相手国
ボーキサイト (千 t)	19,414.4	27,607.9	31,350.3	13.6	中国、スペイン、アイルランド
鉄鉱石 (t)	5.0	-	6.0	-	南ア
金地金 (t)	17.0	49.0	15.0	-69.4	UAE、インド

(出典：International Trade Centre)

(5) 主要金属輸入量

表 3-3. 主要金属輸入量

鉱種	2015 年 (t)	2016 年 (t)	2017 年 (t)	対前年増減比 (%)	主な輸入相手国
フェロシリコマンガ	109.0	-	362.0	-	インド

(出典：International Trade Centre)

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量 (千 t)	備考
Boke (Sangaredi) 鉱山	ギニア政府(49), Rio Tinto(22.95) Alcoa(13.77), Alumina Ltd(9.18), Dadco Investments (5.10)	ボーキサイト	15,409	2017年2月、拡張工事初期段階。 2017年9月、1週間に渡るストライキのため、操業一時停止。
Friguia (Fria) 鉱山	United Company Rusal(100)	ボーキサイト	2,100	年間生産能力
Debele (Kindia) 鉱山	United Company Rusal(100)	ボーキサイト	3,124	2017年生産量

(各社 HP)

表 4-2. 製錬所一覧

製錬所名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種・形態	2017年生産量 (千 t)	備考
Friguia 製錬所	United Co. RUSAL Plc (100)	アルミナ	650	生産能力 2018年6月、Rusal社は操業再開したことを発表。

5. 探鉱状況

表 5-1. 主要探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト名	鉱種	権益所有企業(権益：%)
Dian Dian	ボーキサイト	United Company Rusal(100)
Forecariah	鉄鉱石	China International Fund Mgmt (100)
Gogota	ニッケル、コバルト、鉄鉱石	Sama Resources Inc(40.09), SRG Graphite Inc
Kalia	鉄鉱石、ニッケル、コバルト	Bellzone Mining plc (100)
Lola	グラファイト	Sama Resources Inc(40.09), SRG Graphite Inc
Nimba	鉄鉱石	Consolidated Growth Hldgs Ltd (100)
Sadeka	銅、ニッケル	Bellzone Mining (100)
Sangaredi	ボーキサイト	Mubadala Investment Co. (41.66), Mubadala Dev. Co. PJSC (29.17)
Simandou Block 3 & 4	鉄鉱石	Rio Tinto plc (46.60), Chinalco(41.30), IFC (4.6), ギニア政府(7.5)

(各社 HP)

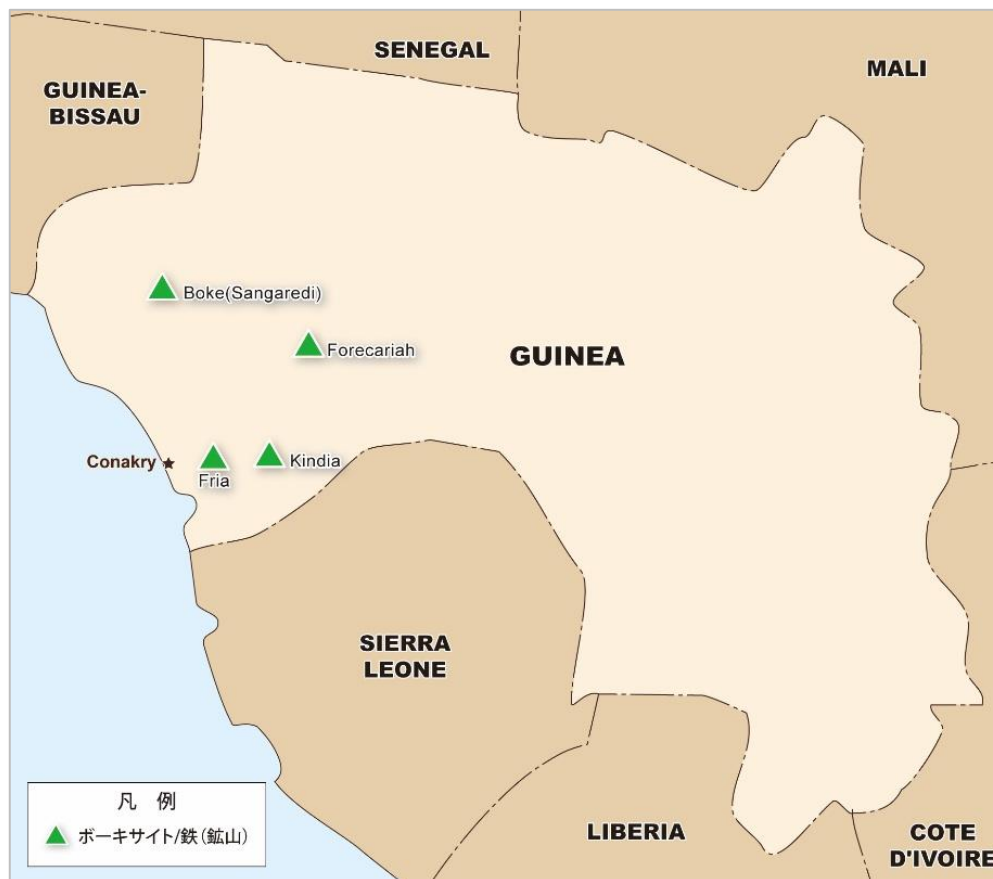


図 5-1. 主要鉱山位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

実績なし

(2) 日本企業による投資状況等

なし

7. その他トピックス

- ・ 2017年11月、Guinea Alumina Corporation (GAC)は、カムサール港でのボーキサイト輸出計画の一環として、新規港湾拠点を建設すると発表。
- ・ 2017年12月、Société Minière de Boké (SMB)はシンガポールの海運大手 Winning Shipping社との企業連合で、アルミナ工場を建設すると発表。2019年に着工し、2022年に完成予定。処理能力は年間100万tになる見込み。
- ・ 2017年12月、Magassouba 鉱山大臣は中国企業 TBEA 社との新規ボーキサイト鉱山、アルミナ工場設立における28億US\$以上の投資を承認。TBEA 鉱山は2019年中旬に生産開始、生産能力は年間1,000万tとなる見込み。アルミナ工場は、2021年に建設完了を目指す。
- ・ 2018年5月、鉱山地域のBoke県で事業を展開する鉱山会社6社は、同地域の生物多様性保

護のため、「ボーキサイト環境ネットワーク (Reseau Environnement Bauxite : REB)」の設立合意書に署名。鉱山・地質省及び環境・水・森林省後援の下、国連開発計画 (UNDP) の協力で実現。同ネットワークは今後、ギニア鉱業会議所が管轄することになる。Guinea Alumina Corporation (GAC) 社、Alliance Mining Commodities (AMC) 社、Responsible Mining Alliance (AMR) 社、Boke Mining Company (SMB) 社、Compagnie des Bauxites de Guinee (CBG)、Alufer 社から成る。

- ・ 2018年5月、中国・安泰科によれば、国家電気投資集団アルミ電気投資公司是、中国水利水力発電第3工事有限公司と戦略的な枠組協議を締結した。両社は、酒鋼集団アルミ電気公司ギニアアルミニウム開発プロジェクトにおける株式権益から事業の実行段階まで全面的に協力する。アルミ電気公司に所属するギニアプロジェクトの中に、ボーキサイト資源開発事業や関連港口、道路の建設事業も含まれている。
- ・ 2018年7月、Chinalcoは、2018年6月8日、ギニア西部にあるBoffaボーキサイトプロジェクトの投資・開発を行うことでギニア政府と契約を締結した。契約によると、Chinalcoギニア分公司は、Boffaボーキサイト北部と南部プロジェクトの15年間の採掘が承認されており、期限満了すれば契約更新することができる。Chinalcoは、Chinalcoギニア分公司の15%の株式をギニア政府に譲渡し、ギニアの権益を35%に引き上げる見込み。当該プロジェクトのボーキサイト埋蔵量は約17.5億tで、稼働後の年間生産は1,200万tの予定。2019年末に生産開始予定。生産されたボーキサイトは、中国山東省や広西省にあるChinalco傘下の酸化アルミニウム精錬所に輸送される。
- ・ 2018年8月、アフリカ開発支援の国際金融機関Africa Finance Corporation (AFC)は、2018年8月8日付けのプレスリリースにてギニアBel Air 鉱山開発を予定通り完了し、中国への高品位ボーキサイトの出荷を開始したことを発表した。Bel Air 鉱山のボーキサイト生産能力は年間約550万tであり、ギニアの年間平均輸出量は約3,500万tになる。Bel Air 鉱山は、Alufer Mining 社によって開発され、AFC、Orion Mine Finance、Resource Capital Funds を含む国際投資コンソーシアムから資金を調達、ギニアにとっては2014年のエボラ危機以降最大の外国投資額となる計2億500万US\$を調達した。鉱山開発中には、1,500名以上が雇用され、そのうち85%がギニア国民、半数以上が地域コミュニティからとなった。さらに、Bel Air 鉱山と併せて港湾を含む関連輸送インフラも建設されており、更なる雇用拡大及びギニアの持続的な鉱業成長を支える国際市場のコネクションとなるとされている。また、AFCによると同プロジェクトは周辺地域との関係性構築に重点が置かれており、地域コミュニティとは2,000以上の会合を実施し、今日まで電力、水、廃棄物管理といった小規模インフラプロジェクトを含む計40のコミュニティプロジェクトが完了しているとした。

(2018. 8. 13 ロンドン事務所 ザボロフスキ真幸)